

木の潤い環境整備事業

目的

県民全体で岡山の森林を守り育てるという意識を醸成する一環として、県立学校に県産材を使用した物品の設置などにより、生徒やその保護者等に県産材に触れる機会等を創出し、岡山県の木材、林業等についての周知につなげる。

1 事業内容

5年間（令和5年度は5年目）で全ての県立学校に県産木材加工品を設置することで、児童生徒が県産木材について知り、考える機会を提供する。また、設置場所を玄関や、食堂などの来客者等も訪れる場所にする事で、保護者等への県産木材の周知にもつながる取組とする。

(1) 実施条件

ア 県産材使用量（材積）に占める県産森林認証材の使用割合が概ね30%以上の木製品とすること（県内の森林から生産され、県内製材業者が製材（加工）を行ったことの証明を要する）。

イ 本事業の趣旨を踏まえて、児童生徒・保護者等への周知について十分な効果を見込むことができる内容であること。

ウ 各学校の整備内容に併せて、啓発用の掲示資料を掲示するスペースを確保すること。

(2) 実施例

県産材を利用した備品の整備

例) 図書室の閲覧机や本棚、玄関の靴箱や掲示板、休憩スペースのベンチなど

2 令和5年度 おかやま森づくり県民税充当額

18,230千円



講義室のフラップテーブル



シューズロッカー

事業担当課：教育庁財務課（TEL086-226-7572）